

Refresh!!

No. 62

2021年10月31日発行

TAKE FREE

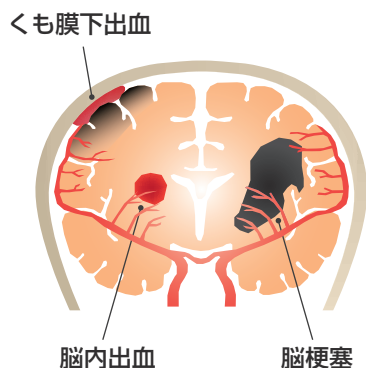
特集 部門紹介



撮影地：日立市 タイトル：「おとぎの国かな？」 撮影：歯科口腔外科 野地 秀彦医師

脳卒中の予防について

脳卒中は脳血管のトラブルで血管閉塞（脳梗塞）や血管の破綻から出血（脳内出血、くも膜下出血）が突然起こる病態で、脳がダメージを受け、麻痺や失調、嚥下障害、高次機能障害など後遺症を来たし日常生活が大きく障害されます。一度起きた障害の多くはリハビリでも完全には回復せず、御本人御家族の生活への影響のみならず社会的損失も多大です。



医療対応がいかに速やかでも後遺症リスクが大の脳卒中では、予防こそが最も有効な対策且つ最重要の課題です。一人ひとりの高血圧や糖尿病、高脂血症、喫煙、肥満等の克服が大切で、特に高血圧では脳梗塞リ

スクは3～5倍、脳出血は9～10倍のリスクになります。

では血圧はいつ測り、どれ位なら良いのでしょうか？ 健診や病院での測定即ち「診察室血圧」は高い、という方は多い訳ですが実は血圧の基準は「家庭血圧」、即ち朝起床1時間以内の排尿を済ませたタイミングで（家で）測定した値です。「家庭血圧」は、①坐位1～2分の安静後、②服薬前、③朝食前、の測定が重要で、食事性低血圧（食後2時間以内の収縮期血圧の低下）や服薬の影響を排除します。正常は125/80mmHg未満で若年や中年者、糖尿や腎障害・心筋梗塞後の方はこれが「降圧目標」です。高齢者や脳血管障害の方では目標血圧は135/85未満で、いずれの場合も正しいタイミングで測定した「家庭血圧」を目標血圧に維持する事こそが、脳卒中予防に繋がります。



脳神経外科
金子 庸生

NEW COMER

— 新任医師紹介



産婦人科医師
藤枝 薫

はじめまして。女性の生涯に寄り添えるような治療を心がけてまいります。よろしくお願ひします。



整形外科医師
中原 僚汰

10月からお世話になります。気軽に相談いただければと思います。よろしくお願ひいたします。



整形外科医師
福田（ふくた） 真也

10月からお世話になります。高萩の地域医療の支えになるように頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



内科医師
青山 彩香

昨年6月に初期研修2年目でお世話になりました青山彩香と申します。後期研修医として戻ってきました。地元が日立なので地域貢献できるように頑張ります。

健康診断のススメ

保健師・人間ドック健診情報管理指導士 磯野 美雪

生活習慣には、長年続けていると健康に悪影響を及ぼすものもあります。その結果罹る生活習慣病は、目に見えず、体に痛みがないこともあるため、自分だけでは気が付くことが出来ないことが多いです。生活習慣を自分ひとりで改善することは容易ではありませんが、健康診断を受診していただくことで病気の早期発見だけでなく、生活習慣改善のためのお手伝いも出来ますので、年1回の健康診断を受けていただくことをお勧めします。

当病院の健康管理センターで実施



している健康診断には、日帰り人間ドック・脳ドック・肺ドック・生活習慣病予防健診・特定健診・企業健診・雇入れ時健診・乳がん検診・子宮がん検診などがあります。

健康診断は、結果報告をして終了ではなく、健康診断後の保健指導、二次検診の受診勧奨をおこなうことで、健康診断を受診された方が健診結果をより理解できるように努めています。そのために二次検診の受診確認や保健指導の教材づくり・掲示などもおこなっております。

Dept 「薬剤部のはなし」 薬剤師 小泉 咲夢

高萩協同病院の部門紹介

当院の薬剤部は薬剤師6名、薬剤助手1名で業務を行っております。主な業務は調剤業務、混注業務、服薬指導、医薬品情報(DI)業務になります。

夜間・休日以外は院外処方のため、調剤業務は入院患者さん中心となっております。処方せんの内容について用法・用量や飲み合わせなどをチェックし、調剤します。

混注業務は無菌設備で抗がん剤の調製をしています。また、4月からは新型コロナウイルスワクチンの調製も行っております。

服薬指導は入院している患者さんに対して治療に用いる薬の効果や服用方法を説明し、薬が効いているか、副作用が起きていないかについて確認を行います。

医薬品情報(DI)業務は薬の有効性、安全性、相互作用などの情報を院内に発信し、医師や看護師からの薬に関する問い合わせにお答えしています。

患者さんの薬物療法の質の向上に貢献できるよう日々努めて参りたいと思います。



Takahagi Fresh News.

令和3年度救急医療功労者知事表彰を受賞しました



当院の近藤匡院長が「令和3年度救急医療功労者知事表彰」を受賞しました。今年度は39回目を迎え、救急医療体制の整備・推進に顕著な功績が認められた4団体と医師並びに医療関係者の計32名が表彰されました。

当院長の地域救急医療体制の充実に向けての尽力が評価されたことをうれしく思います。

人間ドック健診情報管理指導士の資格取得について



コロナ下の折、ご自身の健康管理を意識する市民も増え、健診の需要は年々増えております。当院でも、コロナで受診控えがあった外来とは逆に、健診を受診される方は、コロナ前より増加しております。

この度、当院の保健師 磯野美雪が人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）の資格を取得いたしました。人間ドックアドバイザーによって、糖尿病を始めとした保健指導が充実されます。

ぜひ、ご自身のタイミング（お誕生日や記念日など）で、定期的な健診及び検診を受け、健康で安心な生活が送れるようになることをお勧めいたします。

Topics

「My rideのる」の利用案内窓口の設置



令和3年10月から茨城交通株式会社様が運行するバスについて、10月は週2回程度、正面玄関エントランスで利用方法案内窓口を設置し、茨城交通株式会社様の職員の方に案内をしていただきました。

※「My rideのる」とは？

利用者の呼出に応じて高萩市内を運行するバスの総称です。従来の路線バスで利用しているバス停の他に、「仮想バス停」を設定することで、従来よりも近い場所からの利用が出来るようになります。

県北医療センター高萩協同病院 ブログ



<http://takahagi-kyodo-hp.blog.jp/>

広報誌の表紙は写友会にご協力頂き、写真を使わせてもらっています。写友会はカメラ、写真が趣味の職員で作られたグループで、作品は院内にも飾られています。お時間があれば是非鑑賞してみてください。リフレッシュになりますよ。



発行所：県北医療センター高萩協同病院
 発行人：近藤 匡
 編集：広報ふれあい委員会
 編集協力：協同メディカルサービス株式会社

〒318-0004 高萩市大字上手綱字上ヶ穂町 1006 番-9
 Tel：0293-23-1122 takahagi-kyodo-hp.jp/